

令和7年度 シラバス

教科名	地歴公民			教科書	高校日本史（山川出版社）
科目名	発展日本史		選択	副教材	高校日本史ノート （山川出版社）
履修学年	3 学年 I 型	単位数	2		
科目の目標					
(1) 歴史総合・日本史探究で身に付けた知識・技能を用いて、大学での学びを意識した資料読解に取り組み、考察や仮説をプレゼンや文章で表現する力を養う。 (2) 地域の歴史についてより深く学び、日本全体あるいは世界の中でどのように位置づけられるかを思考する。					
観点	評価の観点の趣旨				
知識 技能	歴史総合・日本史探究で培った知識・技能を前提に「時代を通観する問い」・「仮説」をたて、資料読解と調査を行うことができる。				
思考 判断 表現	資料読解と調査から検証した仮説や考察に関して、レポートや小論文にまとめることができる。あるいは発表を行うことができる。				
主体的に学習に 取り組む態度	現代の日本の課題の形成に関わる歴史と展望について、歴史的経緯をふまえて多面的・多角的に考察，構想し，その結果を表現することとしている。				
学習方法					
(1) 考查は行いません。ただし、「知識・技能」・「思考・判断・表現」の観点の50%については、日本史探究の考查を評価に組み込みます。 (2) 他教科・他科目と連携して、発表を行います。主体的に参加して下さい。 (3) iPad・書籍を活用しての調べ学習を行います。 (4) 適宜レポート・小論文の課題を課します。期日までに提出して下さい。					

内容のまとめりごとの評価規準

科目： 発展日本史

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1	先史・古代の日本東アジア	先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、先史・古代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	
小単元等		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	授業時間数
(1)	歴史資料と先史・古代の展望	調べ学習			3 時間
(2)	古代史の展開	資料読解・調べ学習	発表		8 時間
(3)	単元のまとめ		レポート	レポート	2 時間
2	中世の日本と世界	中世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、中世の日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	中世の日本と世界の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	中世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	
小単元等		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	授業時間数
(1)	歴史資料と中世の展望	調べ学習			3 時間
(2)	中世史の展開	資料読解・調べ学習	発表		8 時間
(3)	単元のまとめ		レポート	レポート	2 時間
3	近世の日本と世界	近世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、近世の日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近世の日本と世界の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	
小単元等		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	授業時間数
(1)	歴史資料と近世の展望	調べ学習			3 時間
(2)	近世史の展開	資料読解・調べ学習	発表		8 時間
(3)	単元のまとめ		レポート	レポート	2 時間
4	近現代の地域・日本と世界	近現代の地域・日本と世界の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、近現代の地域・日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の地域・日本と世界の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の地域・日本と世界の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	
小単元等		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	授業時間数
(1)	歴史資料と近現代史の展望	調べ学習			6 時間
(2)	近代史の展開	資料読解・調べ学習	発表		8 時間
(3)	現代史の展開	資料読解・調べ学習	発表		8 時間
(4)	単元のまとめ		レポート	レポート	4 時間
5	地域史の調査と課題探求	北海道あるいは南富良野の歴史について、歴史総合・日本史探究・アウトドアで学んだことを前提に調査を行い、現在の課題を理解できる。	地域に関しての調査を行い、多面的・多角的に考察、構想して表現する。	地域史に関して、自身との関わりをふまえて、持続可能な社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。	
小単元等		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	授業時間数
(1)		調べ学習	レポート	レポート	5 時間
合計時数					70 時間